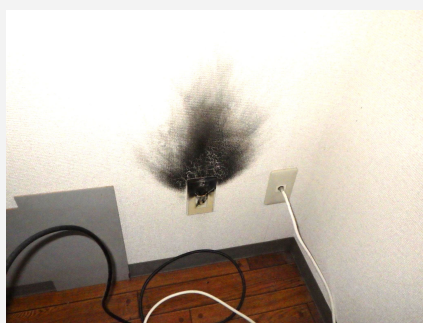


「火の用心だより」

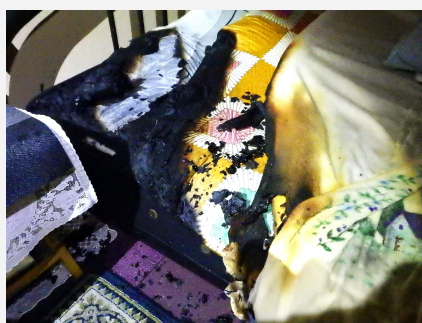
第126号(令和7年9月)

住宅火災にご注意 ～秋の夜長、その油断が火を呼ぶ！～

札幌市内では、令和7年上半期に住宅火災が、**98件**発生しています。そのうち、**27件**が高齢者世帯から出火しており、**3名の高齢者が亡くなっており**ます。住宅火災には、電気火災、たばこ火災、こんろ火災、ストーブ火災といった数多くの火災危険が潜んでいます。



ほこりが溜まったコンセントから出火

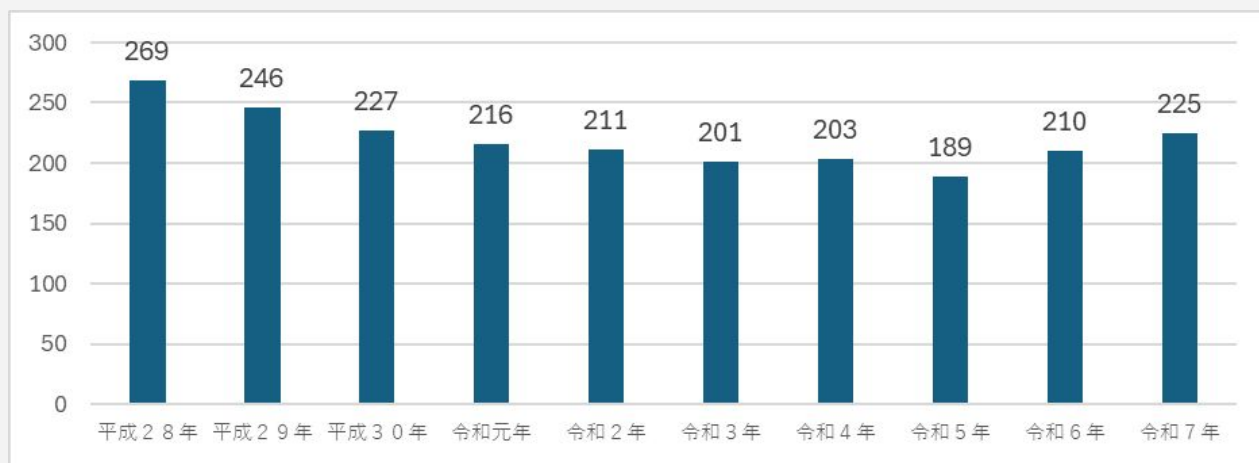


寝たばこで寝具に着火



揚げ物中に、天ぷら油から出火

【住宅火災件数(札幌市 上半期)の推移】



札幌市内の令和7年度上半期火災件数は、**225件**で、前年と比較すると**15件増加**しています。また、過去10年間では減少傾向でしたが、最近では**2年連続で増加**しています。

少しの油断が、大きな**炎**になる現実。

9月号では「**住宅防火いのちを守る10のポイント**」をご紹介します。

住宅火災の恐ろしさを忘れず、今一度、ご家庭の火災予防対策について、ご確認をお願いします。

住宅防火 いのちを守る10のポイント

出典:総務省消防庁

4つの習慣



1 寝たばこは絶対にしない、させない

2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない

3 こんろを使うときは火のそばを離れない

4 コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

6つの対策



1 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する



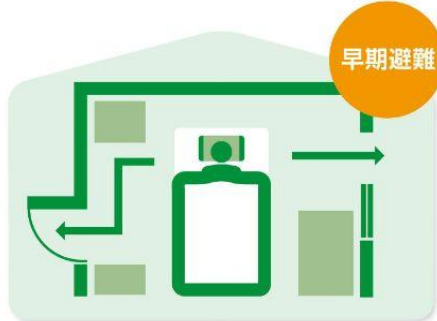
2 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する



4 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく



5 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

市民が主役の火災予防

- ① 火災予防行事・活動に参加しましょう
- ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう
- ③ 消火器などの防災機器を備えましょう
- ④ 防災品を使用しましょう
- ⑤ 放火されない環境をつくりましょう
- ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう

発行:札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南 4条西 10丁目

☎011-215-2040

SAPPORO

